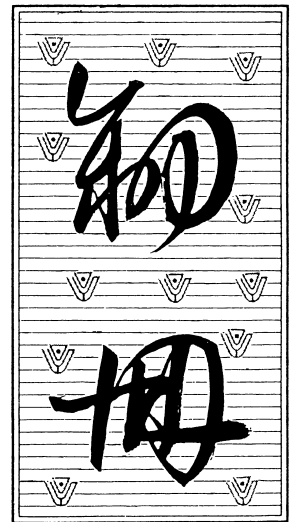


# 翔朋会役員募集

翔朋会会長 及川佳洋



第27号

平成23年 9月16日

発行 宮城県多賀城  
高等学校同窓会  
翔朋会

同窓会って何？ 会長って何をすればいいの？ 総会の参加者はどうすれば増えるだろう？

会長をお引き受けしてからずっと考えてきました。毎年依頼される会報の原稿、宛先不明で返送されてくる会報、総会に参加もせずに批判のみ繰り返す一部の会員、増えない総会の参加者、偏に私の不徳のいたすところであります。

会長在任期間もはや二十年を数え、我が身の非力を痛感し恥じ入るところでもありませんので、此の際有力なる他の

会員諸氏の中から新たな会長を推薦し一会員として今後の翔朋会発展のため微力を尽くすべきが妥当であるとの結論に至り、先の役員会に提案をいたしました。しかしながらこの提案は役員会で議決に至らず本年の総会には再び会長候補として役員改選案をご提案させていただくことになりました。

副会長以下現在の役員諸氏は多忙な中時間を作って本当に一所懸命にがんばっていただいております。

私も再任されました暁にはいっそう微力を尽くす覚悟を決めたところではあります。会員諸氏の中でわれこそはと思わん方が居られませんでした。ひともお力をお借りしたいと

題字紹介

「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

考えているところです。同窓会についていろいろなご意見をお持ちの方、一層活発な同窓会を作るアイデアをお持ちの方、どうか総会にお越しください。ご意見をお聞かせ下さい。また役員としてそのお力をお貸しください。

翔朋会は誰かが一人で作るものでも運営するものでもありません。

翔朋会は会員皆で育ててゆくものではないでしょうか。

いくなれば多賀城高校を卒業した会員諸氏の一人一人が翔朋会そのものではないでしょうか。

これが会長をお引き受けしてからずっと考えてきた同窓会って何だろうという疑問の答えではなからうかと思っております。

翔朋会は広く人材を求めています。力を合わせて盛り上げて行きませんか。



第32回 翔朋会総会

## 旧職員の先生方が参加します

今年の総会の幹事学年が3回生、13回生、23回生、33回生となることを記念いたしまして、該当の卒業生を担当されました当時の3年生の先生方に第33回総会（懇親会）のご案内をいたしましたところ下記の先生方が出席いたします。

- |      |      |          |
|------|------|----------|
| 3回生  | 5組副担 | 加藤 裕記 先生 |
|      | 6組副担 | 遊佐 隆司 先生 |
|      | 8組副担 | 矢吹 隆志 先生 |
| 13回生 | 4組担任 | 庄子 英利 先生 |
|      | 6組副担 | 河野 順子 先生 |
| 23回生 | 1組担任 | 佐藤 淳志 先生 |

翔朋会の充実した運営と発展のため、年会費二千元を納入くださるようお願いいたします。

## 第33回 翔朋会総会のご案内

日時 平成23年10月15日（土）  
 総会 18:30~19:00  
 懇親会 19:00~21:00

会場 ホテル・キャッスルプラザ多賀城

会費 3,000円（当日会場で頂きます。）ただし33回生は1,000円。

○今回の幹事学年は、以下の4つの回生の方々です。

- 3回生（昭56年3月卒業）
- 13回生（平2年3月卒業）
- 23回生（平13年3月卒業）
- 33回生（平23年3月卒業）

それぞれの同期の方をお誘いください。

○同封のFax用紙でお申込みください。

# 人と人との絆

校長 中村 勝彦



今回の東日本大震災では多賀城市も甚大な被害を受けました。幸い本校の生徒につきましてもは全員無事でした。本当に感謝しております。しかしながら、ご家族が犠牲になられた生徒も数名おり、家が流されたり壊れたりして八十七名の生徒が自宅以外からの通学を余儀なくされました。あらためまして、犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、多くの被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の震災の影響で、生徒二名が転出し、二名が転入してきております。

私は、この三月末をもちまして定年退官されました武田和夫校長先生の後任として、仙台三桜高校からまいりました。前校長先生は、教諭、教頭時代を含めて本校に勤務され、引継ぎの折には本校への深い愛情を感じました。その中で伺った本校生の「素直で真面目な性格で、何事にも一生懸命取り組む姿勢」を大切に、その可能性を最大限に伸ばすべくより良い学校づくりに努めていきます。

3・11を経験して、明らかに日本社会が変化していることを感じます。それは「人と人との絆」の大切さを意識し始めたことではないでしょうか。それまでの日本社会は、地域のつながりが無くなり、会社も非正規社員の雇用や内定取り消しなどでこれまでの終身雇用といった安んびを失い、最後の砦となるベキ家族も少子化や結婚率の低下により親が亡くなれば自分一人になるという状況でした。私たちの世代では「普通」であった就職や結婚が、現時の若者にとっては「普通」ではなくなっているということだと思います。そうした人間関係の希薄さが、最近の凶悪で悲惨な様々な事件につながっているのだと思います。今、そうした日本の社会が変われるチャンスではないでしょうか。

今の若者は自分の力で人間関係のネットワークを築いて行かざるを得ない状況に追い込まれています。そのためには、コミュニケーション能力や言語力など人と人をつなげる力が今の学校教育で求められるのです。そういう意味で、「文武両道」を基本として「さとく ゆたかにたくましく」の教育目標を大切にしながら、地域はもちろん日本の復興を担う生徒たちに、これから待ち受ける厳しい社会を「生き抜く力」をしつかり身につけさせることが本校の使命と考えます。「生き抜く力」とは、自分で考えて正しい判断ができ、行動に移すことができ、

周りとの関係をしっかりと築きあげることができると考えます。社会人として生きていく基盤を築くのが高校時代であり、授業はもちろん部活動、学校行事あらゆる教育活動の中で、「生徒が自らを鍛える」ことを支援していきます。

こうした時代だからこそ、同窓会の役割が大きく、「人と人との絆」がより大切になる日本社会にとって今後ますますその意義は深まるものと確信します。今後とも、「多賀城高校」へのこれまで以上のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 今年度の異動

- ★退職者
  - 武田 和夫 校長
  - 高橋 啓 事務室長
  - 阿部 勝 教諭
- ★転出者
  - 亀井 信孝 教諭 泉館山高へ
  - 平山 元春 教諭 泉松陵高へ
  - 永沼 孝紀 主査 教育庁福利課へ
  - 村岡恵利華 主任主査 仙台三高へ
  - 瀧澤 恰加 常勤講師
  - 千葉 卓 非常勤講師 古川北中へ
- ★転入者
  - 中村 勝彦 校長 仙台三桜高から
  - 鈴木 芳則 事務室長 出納簿記課から
  - 駒木 佳子 教諭 名取高から
  - 渡辺 浩一 教諭 名取北高から
  - 阿部 友紀 教諭 新採用
  - 一條 忠美 再任教諭 塩釜高から
  - 中尾 志保 主任主査 松ヶ浜小から
  - 永沼 孝紀 主査 仙台教育事務所から(後任者着任まで)

## 2年連続2度目の東北大会金賞

34回生 吹奏楽部部長 若生 さくら

私たち吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクール宮城県大会に出場し、昨年に続き県代表を頂き東北大会に出場しました。今年は東日本大震災の影響で開催すら危ぶまれたコンクールでしたが、無事開催が決まり、その特別な年に東北大会に出場することができ、部員一同嬉しく思っています。

今年私たちが演奏した曲は課題曲V番「薔薇戦争」より「戦場にて」自由曲、「三つ」のジャズ・ソングを演奏しました。今年は震災があったということでも、鎮魂の意味が含まれる曲でもあり、私たちの出す音にもあったということでも三つのジャズ・ソングを顧問の兄玉先生が選んで下さいました。実際演奏してみても私たちにとてもあっていて、やって良かったと思っています。また私たちは、昨年先輩方が引退されてから今までの一年間、自分たちの気持ちや想いが届いていく方々に伝わる音を目指して練習を積み重ねてきました。昨年初めて東北大会に出場し、金賞を頂いたということもあり、部員が感じていたプレッシャーは大きなものだったと思います。しかし、そのプレッシャーに負けることなく、自分たちができる最高の演奏をしようという気持ちで部員全員が一つになり、今年も東北大会で金賞を受賞することができました。今年こそ全国大会へという気持ちで強かったのですが残念ながらその目標は達成することはできませんでした。しかし、今まで辛く苦しい練習に皆で耐えて頑張った成果は出せたのではないかと思います。最後にになりましたが保護者の方々や地域の方々、多賀城高校吹奏楽部OB・OGの方々、多賀城高校の先生方の支えがあり、今回の結果に繋がりました。心より感謝申し上げます。

今後ともより良い演奏や活動ができるよう頑張ってまいりますので、ご支援よろしくお願い致します。

## 東北大会に出場して

3年6組 佐々木 瑞貴

今年はいつもと違った年でした。三月、震災の影響により私が使っていたプールはもちろん、宮城県内の多くのプールが使用できなくなり、長い間泳ぐことができないままの毎日を送りました。しかし震災の後の混乱の中でも、水泳のことができないままの毎日を送りました。しかし近くのプールが使えないため、私は山形県にあるプールを借り、震災後初めて泳ぐことができました。それから山形で合宿を行ったり、平日には他のチームのプールを借り、早朝に泳いでから八時半までに学校に通ったりという生活を続け、夏の大会に向けた練習を行いました。そして大会が行われるグラウンドが、夏になかったため仙台二高の野外プールを使用していた大会となりました。雨が降り、とても寒いなかでの大会となりましたが、なんとか東北大会出場を決めることができました。東北大会出場を決めた瞬間、今まで諦めずに頑張ってきたことや山形のチームの人々への感謝の思いが心の底から湧きあがってきたことは今でも忘れられません。

東北大会ではベストを出すことはできませんでしたが、最後のレースを楽しむことができました。インターハイには全然届かなかったのですが、三年間東北大会に出場できたことは自分にとってとてもいい経験になったと思います。私はとりあえず水泳を引退してしまいましたが、受験勉強はもちろん、これからの人生でいろいろ大変なことが待ち受けていると思います。しかし、水泳を通して学んだ、「どんな状況になっても諦めない」ということをこれからの自分に生かしていきたいと思っています。

応援してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

2011 県高校総体結果

☆ソフトボール部
一回戦 多賀城 1-12 泉

☆男子ソフトテニス部
一回戦 0-3 古川工業

☆女子ソフトテニス部
一回戦 ベスト16

☆男子バレーボール部
一回戦 泉松陵

☆女子バレーボール部
一回戦 泉

☆男子卓球部
一回戦 3-1 本吉響

☆女子卓球部
一回戦 3-0 常盤木

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 岩ヶ崎

☆女子バドミントン部
一回戦 3-0 古川黎明

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 登米

☆女子バドミントン部
一回戦 3-0 岩ヶ崎

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 古川黎明

☆女子バドミントン部
一回戦 3-0 岩ヶ崎

☆男子バレーボール部
一回戦 泉松陵

☆女子バレーボール部
一回戦 泉

☆男子卓球部
一回戦 3-1 本吉響

☆女子卓球部
一回戦 3-0 常盤木

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 岩ヶ崎

☆女子バドミントン部
一回戦 3-0 古川黎明

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 登米

☆女子バドミントン部
一回戦 3-0 岩ヶ崎

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 古川黎明

☆女子バドミントン部
一回戦 3-0 岩ヶ崎

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 古川黎明

☆女子バドミントン部
一回戦 3-0 岩ヶ崎

☆男子バドミントン部
一回戦 3-0 古川黎明

☆吹奏楽部
全日本吹奏楽コンクール予選

☆合唱部
宮城県合唱アンサンブルコンテスト

☆合奏部
宮城県合奏アンサンブルコンテスト

☆書道部
第六十三回全国学生書道展

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果

☆水泳部
東北大会結果



8回生同級会のご案内

当時の先生方をご招待して8回生初めての同窓会を開催したいと思います。

日時 平成23年12月10日(土)
会場 ホテル白萩
会費 6,000円(予定)

翔朋会 役員

Table with columns for roles (会長, 副会長, etc.) and names (及川, 石橋, etc.). Includes a section for '今年進路状況' with a table of university enrollment statistics.

平成22年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成22年 4月1日～平成23年 3月31日

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	決算額	比較	備考
会費	1,551,200	1,551,200	0	3,600円×277人 卒業時の会費、入会金 2,000円×277人
年度会費	2,000	158,000	156,000	同窓生より振込 (@2,000円)
繰越金	588,031	588,031	0	前年度より
DVD売上費	2,000	0	▲ 2,000	@2,000円
雑収入	69	89	20	利息 8/22 60円・ 2/20 29円
合計	2,143,300	2,297,320	154,020	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	比較	備考
1. 運営費	36,000	48,368	▲ 12,368	
会議費	20,000	18,161	1,839	役員会会議費
通信費	13,000	26,450	▲ 13,450	往復郵便葉書代など
需用費	3,000	3,757	▲ 757	紙代など
2. 事業費	1,900,000	1,537,725	362,275	
総会費	100,000	88,825	11,175	総会補助
会報費	1,300,000	1,206,560	93,440	会報発行・会員宛会報 発送など
補助費	300,000	95,000	205,000	遠征費補助
記念品費	170,000	147,340	22,660	卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	0	30,000	
3. 予備費	107,300	0	107,300	
4. 繰り出し金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立金 として
合計	2,143,300	1,686,093	457,207	

3. (収入総額) (支出総額) (差引残額)  
2,297,320 - 1,686,093 = 611,227  
次年度へ繰り越し

平成23年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

1. 収入の部 2,142,096円  
2. 支出の部 2,142,096円

1. 収入の部

(単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
会費	1,528,800	1,551,200	▲ 22,400	3,600円×273人 卒業時の会費、入会金 2,000円×273人
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込 (@2,000円)
繰越金	611,227	588,031	23,196	前年度より
雑収入	69	69	0	預金利息
合計	2,142,096	2,141,300	796	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1. 運営費	53,000	36,000	17,000	
会議費	20,000	20,000	0	役員会会議費
通信費	30,000	13,000	17,000	はがき、切手代など
需用費	3,000	3,000	0	紙、ファイルなど
2. 事業費	1,900,000	1,900,000	0	
総会費	100,000	100,000	0	総会補助
会報費	1,300,000	1,300,000	0	会報発行・会員宛会報 発送
補助費	300,000	300,000	0	遠征費補助
記念品費	170,000	170,000	0	卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	89,096	107,300	▲ 18,204	
4. 繰り出し金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立金 として
合計	2,142,096	2,143,300	▲ 1,204	

平成22年度 翔朋会 事業報告

平成22年 6月16日(水) 第1回役員会  
9月17日(金) 会報発行  
10月7日(木) 第2回役員会  
10月16日(土) 第32回翔朋会総会  
\*日時 総会18時～ 懇親会19時～  
\*場所 ホテルキャッスルプラザ多賀城  
\*会費 3,000円 (33回生1,000円)  
\*幹事 2・12・22・32回生  
平成23年 2月17日(木) 第3回役員会  
2月28日(月) 翔朋会入会式 (第33回生)  
5月18日(水) 会計監査

平成23年度 翔朋会 事業計画 (案)

平成23年 6月15日(水) 第1回役員会  
9月16日(金) 会報発行  
10月6日(木) 第2回役員会  
10月15日(土) 第33回翔朋会総会  
\*日時 総会18時～ 懇親会19時～  
\*場所 ホテルキャッスルプラザ多賀城  
\*会費 3,000円 (33回生1,000円)  
\*幹事 3・13・23・33回  
平成24年 2月23日(木) 第3回役員会  
2月29日(水) 翔朋会入会式 (第34回生)  
5月16日(水) 会計監査

平成22年度 翔朋会特別会計 決算報告

1. 収入の部 (単位 円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	備考
繰入金	100,000	100,000	0	周年行事の ための積立
繰越金	2,501,590	2,501,590	0	
雑収入	0	467	467	利息8/22 266円 2/20 201円
合計	2,601,590	2,602,057	467	

2. 支出の部

特別会計については、周年行事に対応するため、本年度の支出予定はありません。

3. (収入総額) (支出総額) (差引残額)  
2,602,057 - 0 = 2,602,057  
次年度へ繰り越し

監査報告

平成22年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成23年 5月18日

監事 梅津英久 

平成23年度 翔朋会特別会計 予算書(案)

1. 収入の部 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
繰入金	100,000	100,000	0	周年行事の ための積立
繰越金	2,602,057	2,501,590	100,467	
雑収入	0	0	0	
合計	2,702,057	2,601,590	100,467	

2. 支出の部

特別会計については、周年行事に対応するため、本年度の支出予定はありません。